

International Geography
Olympiad 2024 Dublin

国際地理オリンピック
日本委員会公式サイト

<https://japan-igeo.com/>

国際地理 オリンピックに ようこそ!



[第18回] 科学地理オリンピック日本選手権 および
[第20回] 国際地理オリンピック日本代表選抜大会



主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、一般社団法人 人文地理学会、東北地理学会、地理科学学会、
立命館地理学会、公益社団法人 東京地学協会、一般社団法人 日本地図センター、一般財団法人 地図情報センター、日本地図学会、
一般社団法人 地理情報システム学会、経済地理学会、地域地理科学会

協賛：帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック、スポーツショップ クラブライフ湘南

国際地理オリンピックは 「地理力」競う

地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU（国際地理学連合）の総会（プラハ：チェコ）で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、19回の世界大会と3回の地域大会（アジア・太平洋地域）が行われました。そして2024年にはダブリン（アイルランド）で第20回国際地理オリンピックiGeo Dublin 2024が行われます。

国際地理オリンピック（世界大会）

第1回大会	1996年	ハーグ：オランダ
第2回大会	1998年	リスボン：ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル：韓国
第4回大会	2002年	ダーバン：南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グディニア：ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン：オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ：チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ：台湾
第9回大会	2012年	ケルン：ドイツ
第10回大会	2013年	京都：日本
第11回大会	2014年	クラクフ：ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ：ロシア
第13回大会	2016年	北京：中国
第14回大会	2017年	ベオグラード：セルビア
第15回大会	2018年	ケベック：カナダ
第16回大会	2019年	香港：中国
第17回大会	2020年	イスタンブール：トルコ（中止）
第17回大会	2021年	イスタンブール：トルコ（オンライン開催）
第18回大会	2022年	パリ：フランス（オンライン開催）
第19回大会	2023年	バンドン：インドネシア

地域地理オリンピック（地域大会）

第1回大会	2007年	シンチュー：台湾
第2回大会	2009年	つくば：日本
第3回大会	2011年	メリダ：メキシコ

国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

◆記述式テスト（WRT）

さまざまな地理的な事象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

◆マルチメディアテスト（MMT）

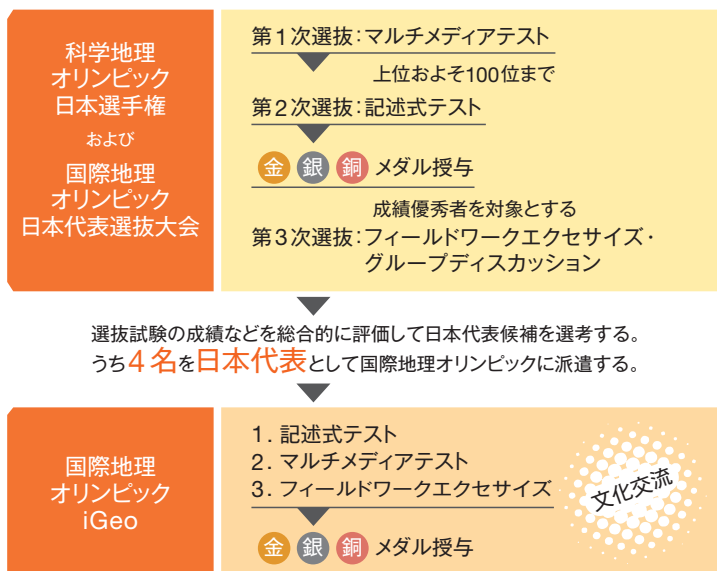
地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な事象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

◆フィールドワークエクセサイズ（FWE）

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な事象や地域のようす、観察できる景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問題で求められていることを的確に表現しなければなりません。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック（世界大会）ではすべて英語で出題され、英語での解答が必要です。（辞書の持ち込みは可）そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも大切な目的の一つです。世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは「地理オリンピック」ならではの国際理解です。



◆ 募集要項

参加資格

2023年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手(4名)は、2024年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、第1次・第2次選抜試験までの国内大会には参加できますが、世界大会代表の選抜対象にはなりません。

選抜について

■第1次選抜 2023年12月9日(土)

会場：オンライン受験のため会場は設けません。

方法：マルチメディアテスト

スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は50分です。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

受験上の注意：第1次選抜では、配信された問題を見て、オンラインで解答する方法をとります。

詳細は受験票に掲載します。スマートフォンでも受験可能ですが、問題の性質上、比較的画面の大きいタブレットもしくはPCを使って受験することをお勧めします。本委員会では機器の貸し出し等は致しません。なお、学校管理者の了承があり、担当の先生が責任を持って試験を実施していただける場合は、学校のコンピュータ教室等で受験することも可能です。担当の先生に問い合わせてください。

■第2次選抜 2024年2月18日(日)

会場：東京・大阪など全国9カ所程度を予定。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、オンラインで実施する可能性があります。

方法：記述式テスト

地図・資料などの読解を中心にした記述式テスト。問題の約2割は英語による出題で、辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は120分です。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績上位(約10名)が第3次選抜試験に進むことができます。(世界大会出場資格がない者は3次選抜試験の対象になりません。)テストの結果は、後日、個人宛てに通知します。

■第3次選抜 2024年3月9日(土)・10日(日)

会場：関東地方で実施予定。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、オンラインで実施する可能性があります。

内容：フィールドワークエクセサイズ・グループディスカッション

フィールドワークエクセサイズ：フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。グループディスカッション：地理に関連したテーマについて議論。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2024年8月19～23日(予定)にダブリン(アイルランド)で開催予定の第20回国際地理オリンピックに派遣します。

問題について

過去の問題の一部は、国際地理オリンピック日本委員会のWebページ(<https://japan-igeo.com>)で閲覧することができます。『地理オリンピックへの招待—公式ガイドブック・問題集—』(古今書院)も参考にしてください。

参加申込みについて

申込期間：2023年9月1日(金)
～11月15日(水)23:59まで

申込み方法：WEBエントリー

申込み専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)からWEBでエントリーします。個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」があります。なお、いずれの場合も応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを忘れないようにお願いします。

「個人申込み」

申込み専用ページから各自WEBエントリーしてください。

「学校申込み」

学校で一括して申し込むことができます。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお願い〉

担当する先生がWEB申込専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)にアクセスし、参加者情報入力シートに記入の上、アップロードしてください。なお、学校のコンピュータ教室等でまとめて受験させる場合で、会場の使用許可が必要な場合は事務局にお申し出ください。

大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、コンピュータ等の機材や通信費等は受験者の負担となります。

国際地理オリンピックは大学の総合選抜型入試(AO入試)等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を、特別入試の対象としている大学があります。

【受験に際しての注意事項】

- 第1次試験はComputer Based Testing(CBT、コンピュータとインターネットを用いた試験形式)ですが、あくまでも通常の試験会場で行われる試験と同様の条件で行われます。
- 自身の周辺に置いて良いものは、計算用紙、鉛筆がシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、紙媒体の英和・和英辞典です。
- 解答時に参考となる教科書・参考書・辞書類の使用は認められません。問題の解答を他者に相談・聞くなど、他の人に助けを求める行いも禁止です。
- 試験中にWebを通じた検索や、試験中でのSNSを介した他者との連絡など、インターネットを本来の試験の意図から外れて使用することは不正行為となります。
- 受験上の不正行為が発覚した場合、第18回科学地理オリンピック日本選手権の参加資格・権利の全てを失います。
- 試験開始にあたり、不正防止に関する宣誓をして頂きます。
- なお、第2次試験、第3次試験がオンラインで行われる場合も同様です。

WEB申し込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

参加申し込みに関するお問い合わせは

☎ 科学オリンピック共通事務局へ

・TEL 042-646-6220(平日12:00～13:00/17:00～19:00)
・E-mail info@contest-kyotsu.com

個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会(以下、「主催者」といふ)が主催しています。ご提供いただく個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」においては、参加申込みの際に提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権

および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供するにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。

3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。国際地理オリンピック日本委員会実行委員会

実行委員長 井田 仁康
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
事務局局長 滝沢 由美子

6. 個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
公益社団法人 日本地理学会 事務局気付
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会 事務局
E-mail: geolympiad@ajg.or.jp



第20回 国際地理オリンピック iGeo Dublin 2024

会期 2024年8月19～23日(予定)

会場 ダブリン(アイルランド)およびその周辺



地理オリンピック ガールズトーク

Girl's Talk

「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことはありません。世界では女子選手が活躍しています。世界大会出場のOG2人と引率教員2人が、オンラインで国際地理オリンピック大会について語り合いました。

飯田 菜未さん(茨城県立土浦第一高等学校出身、東京大学在学中、2019年香港大会出場)

平賀 美沙さん(桜蔭高等学校出身、東京大学・同大学院卒、大手建設会社で土木技術者として活躍中、2013年京都大会出場)

井上 明日香先生(神奈川県立希望ヶ丘高等学校教諭、2019年香港大会ほか引率教員)

林 靖子先生(獨協埼玉中学高等学校教諭、2021年イスタンブール大会(オンライン開催)ほか引率教員)



林：はじめに、飯田さんと平賀さんが、国内選考を受験したきっかけを教えてくださいませんか？

飯田：もともと地理がすごく好きというわけではなかったのですが、高校の時の担任の先生が地理の先生で、その先生に薦められました。

平賀：高校の地理の授業が面白くて、それで自分でいろいろ勉強をしているうちに、この大会のことを知り受験しました。

林：どのような対策をして国内・世界大会に臨みましたか？

飯田：地理の問題集や日々の授業を大事にしていました。世界大会に向けては、強化研修会で多くを学びました。

平賀：私は理系ですが、地理の大学入試問題を解くほかに、図書室で地形図や都市地理学の本など、フィールドワークに活かせるものを借りて読んでいました。世界大会に向けては、英語の単語を自分でまとめたり、強化研修会でいただいた本を読んだりしていました。



林：世界大会では、他国の女子選手とどのような交流がありましたか？

飯田：大会中、香港とルーマニアの選手と相部屋で、お土産の交換をしました。

平賀：私は台湾の選手と同室でした。お互いメダルを獲得して、抱き合って喜んだ思い出があります。シンガポールの選手とは、大会後、私がシンガポールに行った時に案内をしてくれて、彼女が日本に来た時は、私が案内をしました。



井上：今の生活で、地理オリンピックの経験が役立っていると思うことはありますか？

飯田：世界大会に行って、地理により興味を持ちましたし、自分の英語力をもっと磨かなきゃと思ったので、今、大学の授業で地理や英語に関するものを履修しています。江戸時代の名所を文献から調べてまとめる授業では、ここはこういう地形だからこういう建物なのかなとか、地理学的な視点で考えることができています。



平賀：大学では土木学科に入り、授業の中で地形図をみて歴史を考えるとということが求められましたが、地理オリンピックのおかげで、私はそれが得意な方で良かったです。また、旅行に行っても、この道は昔からあるのかななど、今見えているものの背景を考えながら歩くことができて、その基礎は地理オリンピックを通して学んだことにあとだと思います。

井上：やったことが活きているのは、私たちスタッフも嬉しいです。

林：最後に、これから地理オリンピックを受験しようとしている女子中高生へメッセージをお願いします。

飯田：地理に限らず科学オリンピックは、男子が多いイメージかもしれませんが、気負わずに受けてほしいなと思います。世界大会に行くと、4人中全員女子という国もあるので、皆さんにチャレンジしてもらいたいです。女子ならではの視点というの、大事だと思います。

平賀：気軽に楽しく受けて良いと思います。代表にならなくても、試験を通して身につけたことをいかして、地理をいかした仕事に携わる人が増えるといいなと思います。

井上：性別に関係なく興味を持ったら受験してほしいですね。



テストの様子（京都大会より）



記述式テスト



国際大会では英語で解答します



フィールドワークテスト



現地での景観観察



観察事項をまとめる

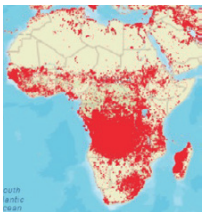


現地での課題説明

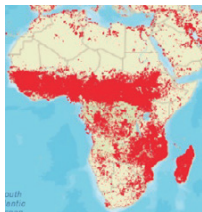
科学地理オリンピック（国際地理オリンピック）の国内選抜試験で出題された問題を紹介します

マルチメディアテスト（MMT）

第1次選抜試験 問題例



A



B



あ



い

2022年1月あるいは7月のアフリカ大陸、南米大陸の火災発生地点を示す衛星画像である。両大陸の1月の画像の組み合わせはどれか。（赤点が火災を示す）

- ① A、あ
- ② A、い
- ③ B、あ
- ④ B、い

解答 ③

森林火災の発生を示した地図である。森林火災は乾季に多く、雨季に少ない。解答に際しては、赤道と南北回帰線の位置がおよそわかっていることが重要。そのうえで赤道低圧帯及び中緯度高圧帯の南北移動を考える。

出典：FIRMSホームページ <https://firms.modaps.eosdis.nasa.gov/>

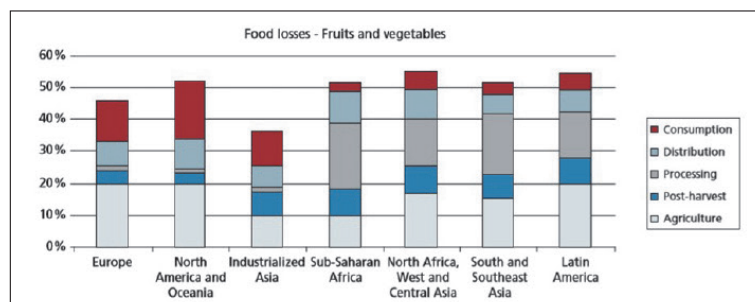
記述式テスト（WRT）

第2次選抜試験 問題例

次の図は、地域別のフードサプライチェーンの各段階で発生した果実および野菜類のロス・廃棄量の当初生産量に占める割合である。食品のロスや廃棄に関して、発展途上国ではどのような特色があるか、先進国と比較して述べなさい。

解答例

先進国と比べ、消費時における廃棄は少ないが、収穫後や加工における食料ロスが大きい。





2022年7月に

パリ(オンライン)で行われました

第18回 国際地理オリンピック iGeo Paris 2022

代表選手・引率教員からのメッセージ

世界大会はテストではありません。
ポスタープレゼンテーションや文化交流・エキスカッション
など多彩なプログラムが用意されています。

地理オリンピックの醍醐味は、与えられたヒントと自分の知識を総動員して地域の特徴を探ることです。高校で学習する範囲を超えるような特殊な知識は使いません。自分が見聞きしたことを組み合わせて結論を導くのです。

オリンピックというと、猛者ばかり、そして難問揃いのイメージがあるかも知れませんが、恐れることはありません。少しでも地理に興味がある方は、過去問をしてみることをおすすめします。思いのほか解きやすい問題も多いはず。そして地理オリンピックに向けて学んでいくうちに、地理の知識や思考力が身につきます。また、代表選抜から国際大会へと進んでいくにつれ、日本中、そして世界中の地理を愛する仲間との交流の輪が広がっていくでしょう。

日本代表選手 岩倉 治樹(筑波大学附属駒場高等学校2年)

今日もまた、いつものように家を出て、いつものように学校へ向かう。歩き古した道、ふと小さな坂が目にとまった。途端に目の前には見たことのない景色が広がる。そこには雄大な河川が滔々と流れていた——

地理を学ぶと、世界の見え方が変わる。今という瞬間に折り畳まれた歴史が解きほぐされ、過去の世界が見えてくる。過去へと繋がる扉は、至る所に佇んでいるんだ。それは古民家の軒先に、河原の土手の傍らに、石垣の崖のすぐ手前に、青い柳の木の下に、小高い丘の頂上に、そしてほら、君の目の前にも。

必要なのは、少しばかりの知識と、あとは想像力だけだ。さあ、目の前の扉に手を掛けて、まだ見ぬ世界へと足を踏み入れようではないか。

日本代表選手 佐藤 弘康(栄東高等学校3年)

地理は文系科目なのになぜ「科学」地理オリンピックなのだろうか、そう思いませんか？私も初めは疑問に思っていました。しかし、地理という学問は文系理系なんて関係ないのです！地理オリでは地理・地学を中心に、経済、言語、歴史、植生、土壌に至るまで幅広い分野の知識を問われます。国際大会では特に、日本の高校で学ばないような地理の奥深さに沢山触れることができます。

高3までという年齢制限はありますが、皆に等しくチャンスがあるのもまた事実。このメッセージを読んでいるということは、地理に少しでも興味を持ってくれているということでしょう。「オリンピック」という言葉に怯む必要はありません。ぜひ気軽に受けてみてください！！

日本代表選手 新山 慶悟(宮城県仙台二華高等学校3年)

地理は、文理の壁を越えて様々な分野にまたがる学問です。地理オリンピックでは、あなたの好きな分野の知識を活かしなが、地形やまちを観察したり、地域の問題解決の方法を考えたりして「地理」を存分に楽しむことができます。また、地理オリンピックでの経験を通じて、これまであまり触れてこなかったような学問分野に対して新たな関心も生まれてきます。そうした関心がきっとあなたをもっと面白い学問の世界に連れて行ってくれることでしょう。

今、学校で学ぶ地理が面白いと思っている人も、そうでない人も、「地理」をより楽しむため、新たに面白いことを見つけるために、是非挑戦のような気持ちで地理オリンピックに参加してみてください！

日本代表選手 森田 晃弘(灘高等学校3年)



試験中の様子



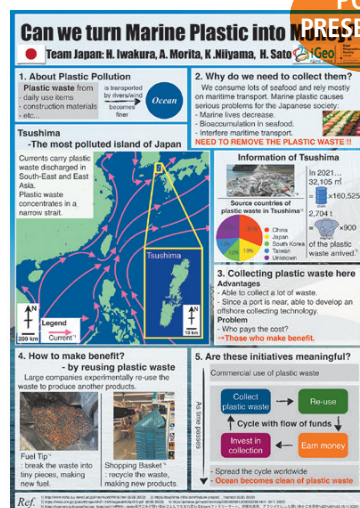
合宿勉強会



日本代表と引率スタッフ



オンラインでの文化交流会



パリ大会には、54の国・地域から過去最多209名の代表選手が参加しました。日本代表選手4名は約1週間、湯河原の研修施設に泊まり込み「地理漬け」の日々を過ごしました。夜遅くまで地理についての熱い議論を重ね、記述式・フィールドワーク・マルチメディアの3つのテストにのぞみ、好成績をおさめました。それ以外にも文化交流やポスタープレゼンテーションが行われ(テスト後には小田原や湯河原周辺のフィールドワークも!)、「地理好きによる地理好きのための祭典」を大いに楽しんでいました。

世界大会でも問われていることは非常にシンプルです。さまざまな資料から地域の特徴や課題を見出し、よりよい未来を考えるといいのです。地理オリンピックに挑戦し、地理を楽しみ、よりよい未来を考えてみませんか？

日本代表引率教員 新井 教之(京都教育大学附属高等学校)

「地理」は地形、文化、鉄道、まちづくりなど、好きになるきっかけがあちこちに転がっている科目だと思います。一言で「地理好き」と言っても、特に好きな分野や得意分野は人それぞれです。そのようなそれぞれの興味関心を持つ生徒の皆さんが、「地理好き」という共通点で世界中から集まり、それぞれの話を興味を持って聞き合い、問題解決のために切磋琢磨する。国際地理オリンピックはそのような素晴らしいやり取りが行われる場だということを感じるとともに、間近で見ることができ感動しました。

このパンフレットを手にとって「地理好き」の皆さん、地理で学んだスキルを活かし、ぜひ挑戦してみてください。ご活躍を期待しています。

日本代表引率 金久保 響子(筑波大学大学院生)